

# 令和4年度生涯学習部研修会（西濃地域）報告

日 時：令和5年2月19日(日)9：00～12：00

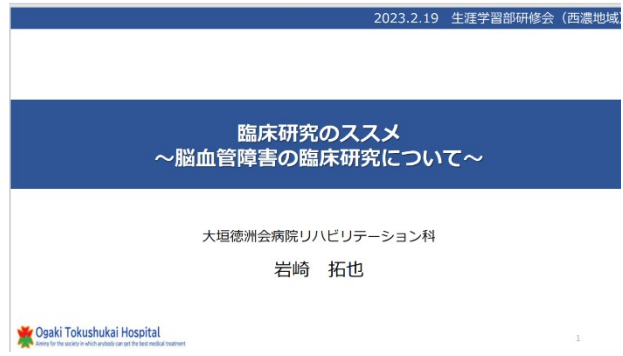
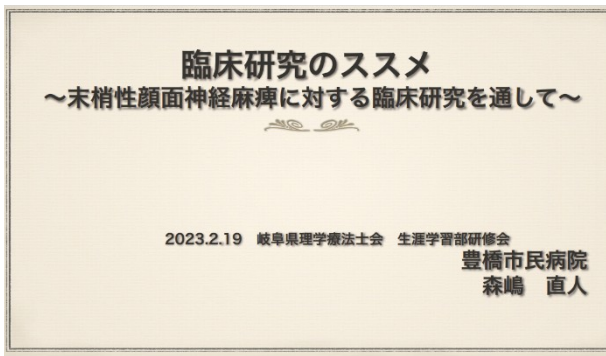
場 所：WEB 研修会（ZOOM を使用）

テーマ：臨床研究のススメ～末梢性顔面神経麻痺に対する臨床研究を通して～

リモート講師1：森嶋 直人先生（豊橋市民病院 診療技術局長）

リモート講師2：岩崎 拓也先生（大垣徳洲会病院 リハビリテーション科 副主任）

参加人数：12名(スタッフ含)



## 【当日の様子】

今回の西濃地域の生涯学習部研修会では、「臨床研究のススメ」をテーマに豊橋市民病院の森嶋直人先生と大垣徳洲会病院の岩崎拓也先生をお招きして研修会を実施しました。森嶋先生からは末梢性顔面神経麻痺に対する長年のデータ集積を通しての取り組み、岩崎先生からは脳血管障害の臨床研究について新たな知見も含めWEB研修会でご講演頂きました。

具体的な内容について、森嶋先生は末梢性顔面神経麻痺の評価方法から発症後の時期に応じた治療アプローチについてご講演頂きました。解剖学的な知識から末梢性神経麻痺の評価治療に関する歴史的な移り変わりなどもご紹介頂き、多施設共同研究の経験を通じて統一された評価方法や治療方法の周知方法など先生がご苦労なされた実例などを交えてご講演頂きました。岩崎先生は症例報告・後ろ向き研究への進め方だけでなく、自施設における過去の研究発表から臨床業務への活用まで幅広くご講演頂きました。

両講師の先生方から臨床疑問を研究へつなげるにあたっての概要から詳細までご講演頂き、参加者の先生方へ臨床での疑問を解決する方法の一つとして臨床研究があり、理学療法の領域においてプロフェッショナルであるために日々の積み重ねが重要であるとのメッセージを再認識頂けたと考えます。

最後に、貴重な時間を割いてご講演頂きました森嶋先生、岩崎先生をはじめ参加者の皆様、WEB開催に向け準備を含めご尽力いただきました先生方に心より御礼申し上げます。

生涯学習部 西濃地域 小出 紘靖